

日南市公共施設等総合管理計画
(個別施設計画)

文化施設編

令和2年3月

生涯学習課

1. 対象施設

平成29年度末現在、文化施設は3施設で、延床面積の合計は8,136㎡となっている。

No.	施設名	所在地	総床面積 (㎡)	棟数
1	文化センター	日南市中央通1-7-1	2,938	1
2	南郷ハートフルセンター(文化会館)	日南市南郷町中村乙7051-25	4,477	1
3	北郷ふれあい交流センター	日南市北郷町郷之原乙1570	721	1
合計			8,136	3

2. 計画期間

令和2年(2020年)度から令和8年(2026年)度までの7年間とし、進捗状況の結果等を踏まえて、適宜、計画を見直すものとする。

3. 対策の優先順位の考え方

(1) 施設の役割

本市の文化施設3館は、芸術文化の振興及び生涯学習の推進、市民の文化の向上と福祉の増進を図ることを目的として設置している。

(2) 現状と課題

3施設とも築20年を経過しており、特に文化センターは開館から55年を経過している。各施設躯体の老朽化が進み、具体的な長寿命化や更新についての検討が必要である。それとともに文化施設の心臓部とも言える音響・照明・舞台設備の老朽化も進んでおり、設備の更新についても検討する必要がある。

また、平成27年度から平成29年度の3か年平均で、文化センターで約2万人、ハートフルセンターで約4万人の年間利用者があるが、北郷ふれあい交流センターの年間利用者は約2千人程度と利用者が少ない状況にある。

(3) 今後の施設の考え方

文化施設は文化芸術を通じて豊かで潤いのある市民生活に貢献する施設であるため、引き続き適切な維持管理のもと、施設の安全性の確保に努める。当面は文化施設3館を維持し、本市の文化振興を図ることとし、今後については、文化センターは利用実態等様々な角度から施設のあり方、南郷ハートフルセンターは施設・設備の長寿命化のあり方、北郷ふれあい交流センターは、(仮称)道の駅北郷の新設に伴う一体施設としての利活用のあり方を検討していく。

また近年では災害が甚大化しており、避難所としての役割も求められており、安全な避難生活を確保するための整備に努める。

4. 施設の状況等

(1) 施設性能

No.	施設名	建築年度	経過年数	構造	耐用年数	残寿命年数 (年)	耐震		大規模改修	
							診断	改修	年度	改修
1	文化センター	S37年度	55	RC	47	-8	済	不	H3 H4 H5 H6 H11 H12	屋・他 他 他 他 屋・壁・他 他
2	南郷ハートフルセンター (文化会館)	H7年度	22	RC	47	25	新	新	H13 H17 H19	他 屋 屋
3	北郷ふれあい交流センター	H6年度	23	RC	47	24	新	新		

(注1) 平成29年度末現在の状況について記載

(注2) 複数の建物からなる施設については、主たる建物について記載

※構造: W=木造、RC=鉄筋コンクリート、SRC=鉄筋鉄骨コンクリート、S=鉄骨、LGS=軽量鉄骨、CB=コンクリートブロック

※残寿命年数: 耐用年数-経過年数〔基準年度-建築年度〕

※耐震診断: 新=新耐震基準(建築年がS57年以降)、済=旧耐震基準(建築年がS56年以前)であるが耐震診断実施済み、

未=旧耐震基準で耐震診断が未実施、不=旧耐震基準であるが新耐震基準で建てられているため、耐震診断不要

※耐震改修: 新=新耐震基準、済=耐震改修が実施済み、未=耐震診断未実施又は耐震改修が必要だが未実施

不=旧耐震基準であるが耐震改修が不要

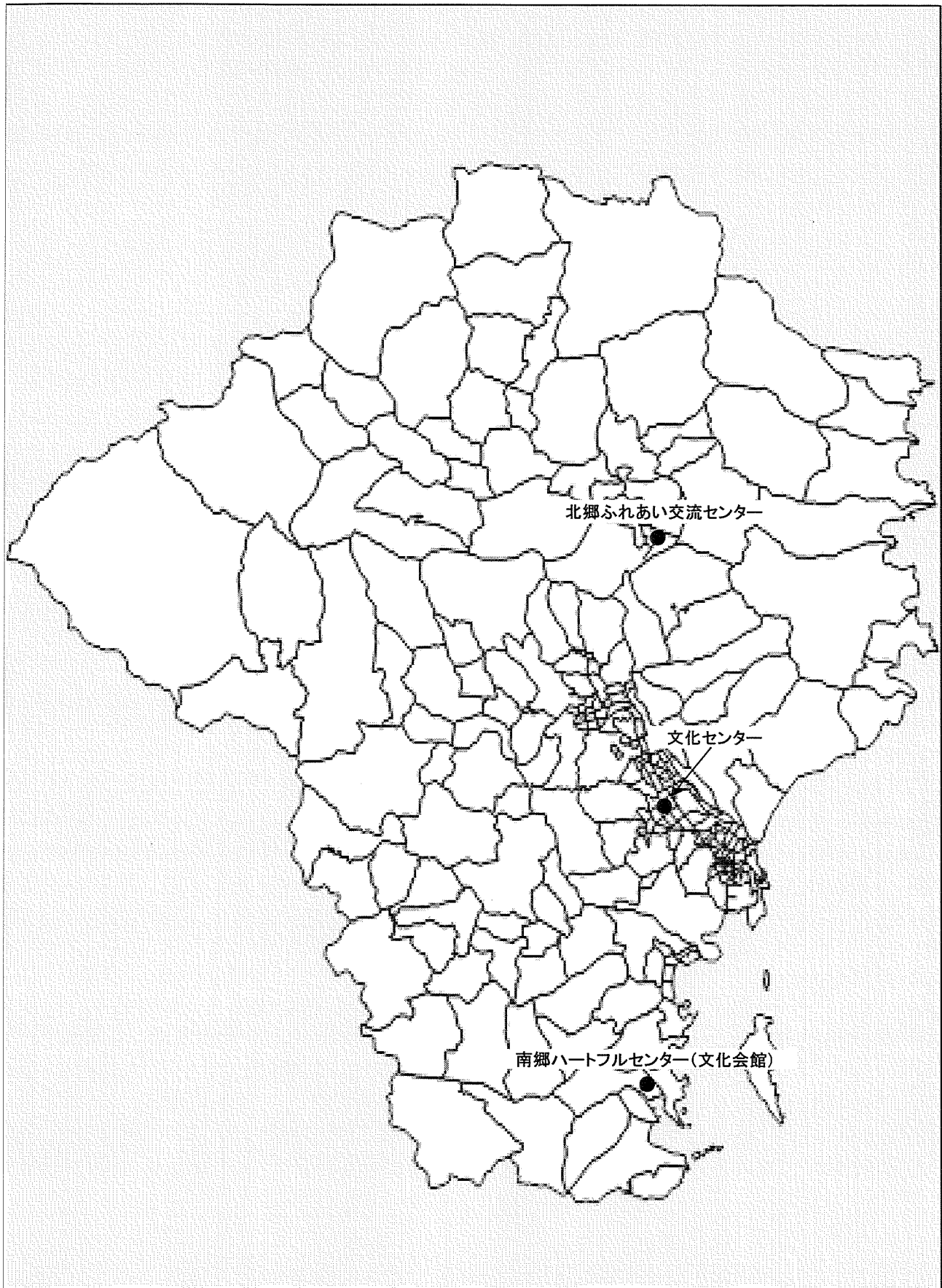
※大規模改修: 屋=屋根改修、屋上防水改修、壁=外壁改修、他=設備改修、内装その他改修

(2) 利用・運営状況

No.	施設名	総床面積 (㎡)	運営日数 (日)	利用者数 (人)	年間コスト (円)	利用者1人当 りコスト(円)	1日当たり 利用者数(人)
1	文化センター	2,938	303	21,633	16,527,847	764	71
2	南郷ハートフルセンター (文化会館)	4,477	307	41,699	45,920,417	1,101	136
3	北郷ふれあい交流センター	721	296	2,302	5,264,355	2,287	8

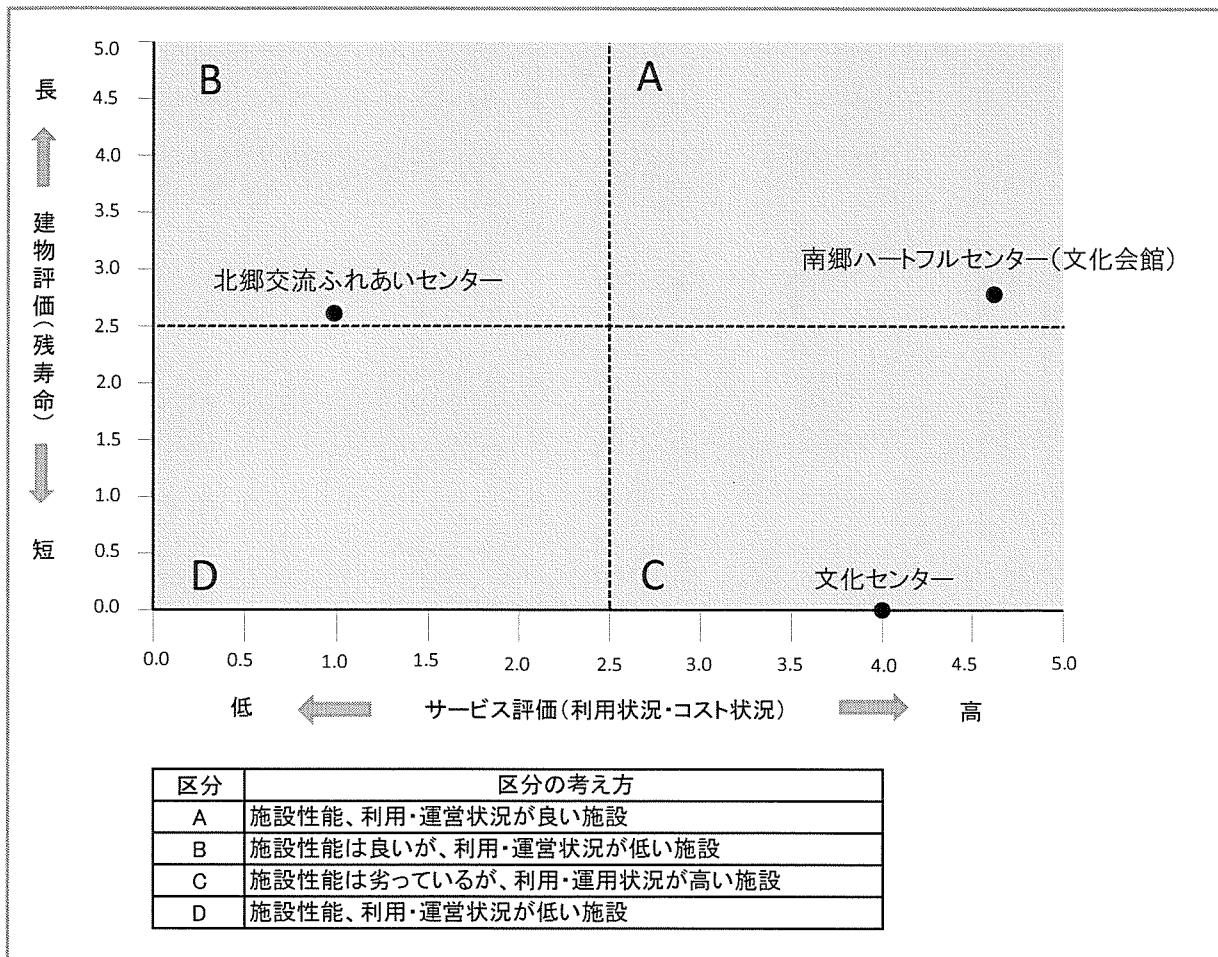
(注) 運営日数、利用者数、年間コストは、過去3年間(H27~29年度)の平均を記載

5. 施設配置状況



6. ポジショニング分析(施設評価)結果

各施設の施設性能(ハード面)と利用・運営状況(ソフト面)の重要な2つの指標について、数値化し、施設の特徴や傾向を4つの区分(A、B、C、D)に分けて表したものです。



【施設評価の考え方】

縦軸: 建物評価の点数

○残寿命年数

施設の残寿命年数を計算し、建物の評価点を出す(5段階評価で5点満点)。マイナス評価の場合は、0点とする。

〈計算式〉

耐用年数 - (基準年度(2017年度) - 建築年度) = 残寿命年数

(残寿命年数 / 耐用年数) × 5点 = 残寿命年数の点数

例) 平成4年度(1992年度)建築された、鉄筋コンクリートの庁舎の場合

50(耐用年数) - (2017 - 1992) = 25 25(残寿命年数) / 50(耐用年数) × 5点 = 2.5点(残寿命年数の点数)

横軸: サービス評価の点数

○利用者1人当たりのコスト

利用者1人当たりコストが最も小さい施設を5点、最も大きい施設を1点とし、その他の点数は数値に応じて比例配分する。不明の場合は0点とする。

○1日当たりの利用者数

1日当たり利用者数が最も多い施設を5点、最も少ない施設を1点とし、その他の点数は数値に応じて比例配分する。不明の場合は、0点とする。

サービス評価の点数 = (1人当たりコストの点数 + 1日当たりの利用者数の点数) × 1/2

※過去3年間(H27~29年度)の平均により算定。

7. 適正化計画

現状や課題、今後の考え方を踏まえ検討した適正化計画は次のとおりです。

(1) 今後の方針

No.	施設名	方針
1	文化センター	適切な維持管理のもと、施設の安全性確保に努める。また、利用状況や老朽化の状況を見極め、施設のあり方の検討を行う。
2	南郷ハートフルセンター (文化会館)	適切な維持管理のもと、施設の安全性確保に努める。また、利用状況や活用状況等を見極め、施設・設備の長寿命化を図りながら継続して利用する。
3	北郷ふれあい交流センター	適切な維持管理のもと、施設の安全性確保に努める。また、今後整備予定の(仮称)「道の駅北郷」の一体施設としての利用のあり方を検討する。

(2) 計画期間内(7年)の対策内容及び対策費用

(単位:百万円)

No.	施設名	棟名称	項目	計画期間							
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
1	文化センター	ホール	対策内容								
			対策費用								
2	南郷ハートフルセンター	文化会館	対策内容	屋根・その他							
			対策費用	21							
3	北郷ふれあい交流センター	交流センター	対策内容	屋根・その他							
			対策費用	4							

※屋根・・・屋根改修

※その他・・・屋根改修以外の改修(空調、音響等)

※利用状況や老朽化の状況をみながら、対策内容・時期及び費用を検討し、見直しを行う。